

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告概要 (2020年度)

(1) 一般活動（地区幹事会・センター運営委員会）

第1回幹事会：2020年8月17日（月）14:00～ 参加人数：15名

1. 自然災害研究協議会報告

松本センター長より、令和2年5月13日（水）開催の令和2年度第1回自然災害研究協議会（遠隔会議）について、主として以下のことが報告された。

- ・「第57回自然災害科学総合シンポジウム」が9月1日（火）にオンラインにて開催予定。
- ・北海道地区部会の予算計画について：旅費が多くなっているが、オンラインでの開催となることもあり、余る可能性がある。地区フォーラムでの使用金額を多くするなど、使い道を考えていただけるとよい。
- ・自然災害研究協議会科研費（突発災害）申請ガイドライン（案）および自然災害研究協議会突発災害調査委員会内規について：申請をする場合には、参考とされたい。
- ・突発災害調査委員会（令和2年度）（案）について：表のとおり。

2. 2019年度決算報告

松本センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：2,840,850円（2018年度繰越分を含む）

支出：908,949円

残高：1,931,901円

寄附金

収入：440,793円（2018年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

3. 2020年度予算案

松本センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,104,901円（2019年度繰越分を含む想定額）

支出：1,173,000円

寄附金

収入：440,793円（2019年度繰越分）

支出：支出予定なし

→松本センター長より、必要な支出があればアイデアをいただきたい旨、依頼があった。また、木幡委員より「データベース作成作業費」について質問があり、松本センター長より事務局と話し合っただけで当該作業を進めてゆきたいとの回答があった。

4. 2020年度地区フォーラムについて

松本センター長より、北大→室工大→北見工大のローテーションに従い、北見工大の委員の先生（早川先生、高橋先生）へ依頼し、早川先生に北見工業大学の「地域と歩む防災研究センター」との共催で地区フォーラムをご検討いただいていることが報告された。

5. 総会特別講演会について

松本センター長より、今年度の北大（社会工学系）の定年予定者がいないことから、総会特別講演会の講演候補者（定年予定者）を今後探してゆくとの発言があった。また、委員の皆様にも講演候補者をご紹介いただきたいとの依頼があった。

→講演候補者として1名の先生のお名前が挙げられ、松本センター長より打診することとなった。また、北大（社会工学系）以外や他大学の講演候補者（定年予定者）も探し、該当する先生がいらっしゃる場合は、松本センター長より打診することとなった。

6. センター業務報告

事務局より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 78 名、協力員 61 名、合計 139 名

資料の受入：寄贈 2 件

資料の貸出し・閲覧：0 件

センター報告 Vol. 33：メール送信者数 130 名、冊子送付者数 216 名（送付部数 226 部）

ハガキ返信状況：177 件中 82 件返信あり（冊子希望 7 件、ダウンロードに同意（メールアドレス取得）45 件、ダウンロードに同意だがメールアドレスの記載なし 6 件、中止希望 23 件、宛先不明 1 件）

→センター報告 Vol. 34 送付予定者は、冊子送付者 21 名+寄稿者、メール送付者 176 名（部会員（学内）42 名、部会員（学外）34 名、協力員 36 名、その他 64 名）+寄稿者である。

WEB サイトについて：公開中

7. センター報告について

松本センター長より、センター報告 34 号の原稿を募集中であるとの連絡があった。ご寄稿候補者として泉先生のお名前が挙がり、松本センター長より打診いただくこととなった。

→幹事会終了後、泉先生にご快諾いただいた。

8. その他

飯場元委員の後任委員について、松本センター長より、松本センター長と岡崎委員の間で、後任の先生などが着任されたら入っていただくという合意がなされた旨、報告があった。

第2回幹事会：2020年12月21日（月）14：00～ 参加人数：14名

1. 自然災害研究協議会報告

山下部会長より、令和2年9月1日（火）開催の令和2年度第2回自然災害研究協議会（遠隔会議）について、主として以下のことが報告された。

- ・第57回自然災害科学総合シンポジウム：9月1日（火）にオンラインにて開催された（主な内容：前年度の突発災害の報告、協議会支出の災害調査の報告）
- ・河川災害に関するシンポジウム：開催場所をオンラインに変更して実施された
- ・科研費（特別研究促進費）・突発災害調査：「令和2年7月九州豪雨災害の総合調査・研究」について、熊本大学の大本先生を中心に実施されている
- ・自然災害研究協議会による突発災害（初動調査、継続的調査等）調査研究サポート：「令和2年7月豪雨災害」について実施される予定である
- ・データベース SAIGAI：不要な資料の廃棄が進められている
- ・国際展開調査：新型コロナウイルスの影響により、GADRIの活動は9月時点で進展なし。次回サミットの開催時期は未定

また、山下部会長より、北海道地区の予算について、幹事会のオンライン開催等により予算が多く余る可能性が高く、協議会からも各地区での予算の使用が求められていることから、予定していないものでも必要なものがあれば予算を使用していただければとの発言があった。予算が余った際に購入するものとしてドローンが候補として挙げられ、購入する際には委員の皆様へメール等でお伺いすることとなった。

2. 2020年度予算中間報告

松本センター長より、以下のとおり報告された。

一般運営財源（研究経費）

収入：3,104,901円（2019年度繰越分を含む）

支出：513,145円

残高：2,591,756円

寄附金

収入：440,793円（2019年度繰越分）

支出：0円

残高：440,793円

→松本センター長より、「センター報告」をHPへアップロードしたことを関係者の皆様へお知らせするメールをHTML形式にすることとその費用支出を検討していることが報告された。

3. 地区フォーラムについて

早川委員より、地区フォーラムを対面で開催できるか等を北見工業大学の「地域と歩む防災研究センター」のセンター長と検討中であることが報告された。早川委員よりWeb開催でも開催したほうがよいかとの質問があり、松本センター長よりWeb開催には遠方からも出席できるメリットがあるとの応答があり、また、山下部会長より協議会で予算を組んでいるため可能であればWebでも開催していただければとの応答があった。

地区フォーラムの内容については、早川委員より、地すべり・液状化をテーマに札幌から講師の先生をお呼びすることを検討していること、2月中旬か3月中旬に開催を予定していること（対面で開催できる場合、会場は大学を予定）が報告された。山下部会長より、予算のこともあるため、開催時期が遅くなるようであれば事務局と相談いただきたいとの依頼があり、早川委員より、できれば2月中旬に開催したいとの応答があった。

4. 総会特別講演会について

松本センター長より、前回幹事会にて講演候補者としてお名前が挙げられた1名の先生へ打診したが、ご承諾には至らなかったことが報告された。松本センター長より、以前、もう1名の先生のお名前が挙がっていたとの発言があり、尾関委員より渡辺委員にお伺いいただけることとなった。

5. センター業務報告

事務局より、以下のとおり報告された。

北海道地区部会メンバー数：部会員 76 名、協力員 63 名、合計 139 名

資料の受入：寄贈 21 件

資料の貸出し・閲覧：0 件

WEB サイトについて：公開中

6. センター報告について

松本センター長より、今年度のセンター報告ご寄稿者は、泉先生、山下先生、横田先生、草苺先生であることが報告された。

7. その他

(2) 地区フォーラム

2021年3月25日（木）開催予定

(3) 出版活動

北海道地区自然災害科学資料センター報告 vol. 34 号の刊行（2021年3月）

(4) 地区総会

2021年3月17日（水）開催予定（地区総会 14:00～15:00）